

特集 復興とともに歩む経営者たち

## 第1章

# きたるべき災害に 立ち向かうために ——被災経験のある経営者から学ぶ



「復興とともに歩む経営者たち」執筆チーム

### 1. 今、改めて災害について考える意義

各種メディアの報道で、あるときは各地で発生する豪雨や豪雪・地震などのニュースが、またあるときは過去の同じ日に発生した災害のニュースが流れている。災害大国とも評されるわが国ならではの光景といえる。

今後もさまざまな災害が予測される中、中小企業診断士として今何ができるのか。私たちは、そのヒントを見つけるため、災害を契機に事業の在り方を見つめ直した経験のある中小企業の経営者に話を聞くことにした。

本特集は、復興時の苦労やその乗り越え方、その後の事業活動に関するお話から、私たち中小企業診断士が起こりうる災害に考えを巡らせるための糧を得ることを目的としている。

### 2. 災害の発生状況と今後の予測

本特集を始めるにあたり、最近の災害発生状況と今後予測される災害をまず確認したい。

2021年は豪雪、豪雨による被害のほか、震度6強を観測した福島県沖地震や震度5強を観測した千葉県北西部地震が発生している。また、今後30年以内には、駿河湾から日向灘沖まで続く南海トラフでの地震や津波、一都三県での首都直下地震など、大きな災害が予測されている。

経済的損失の予測では、特に広範な被害が

予測される南海トラフ地震における影響は24.8兆円と非常に大きい（出所：内閣府政策統括官（防災担当）「南海トラフ巨大地震の被害想定について（経済的な被害）」[https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/taisaku\\_wg/pdf/3\\_sanko.pdf](https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/taisaku_wg/pdf/3_sanko.pdf) p.16）。

未曾有の災害の発生により閉業・廃業する企業を1社でも減らしたい。そのために必要なのは、災害発生を念頭に置きながら中小企業とかかわることではないかと考える。

### 3. 多様な企業を支援できるノウハウを

本特集の執筆にあたっては、東日本大震災、熊本地震、西日本豪雨で事業の転機を迎えた計5社へ取材を行った。

取材対象先には、中小企業診断士の力を借りずに復興した企業や、災害をきっかけに起業した企業も選定した。中小企業診断士の活用価値を見いだしていない経営者や、復興を現地で支えるために起業した経営者など、さまざまな経営者がいると考えたからである。

①中小企業診断士の力を借りながら復興した事例：第2章

②経営者が自力で復興した事例：第3章～第5章

③災害を機に起業した事例：第6章

本特集を通じて得られた学びが、将来の災害発生時に中小企業が復興する際のノウハウとして役立つことを願ってやまない。